

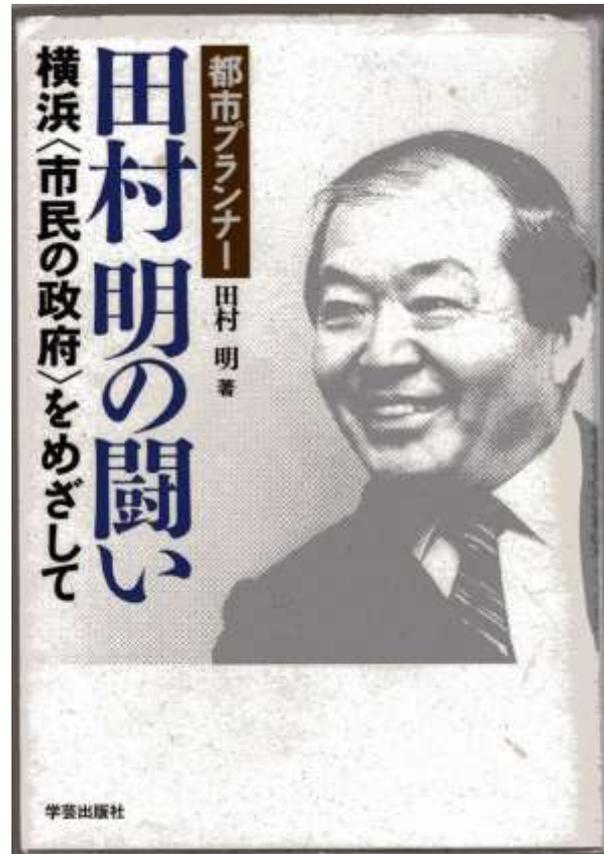
# 高速道路の地下化とは何？

横浜駅東口から羽田・成田行き  
高速バスが地下を通るのを  
経験されました？





# 田村明の役割と現場の人々の働き？

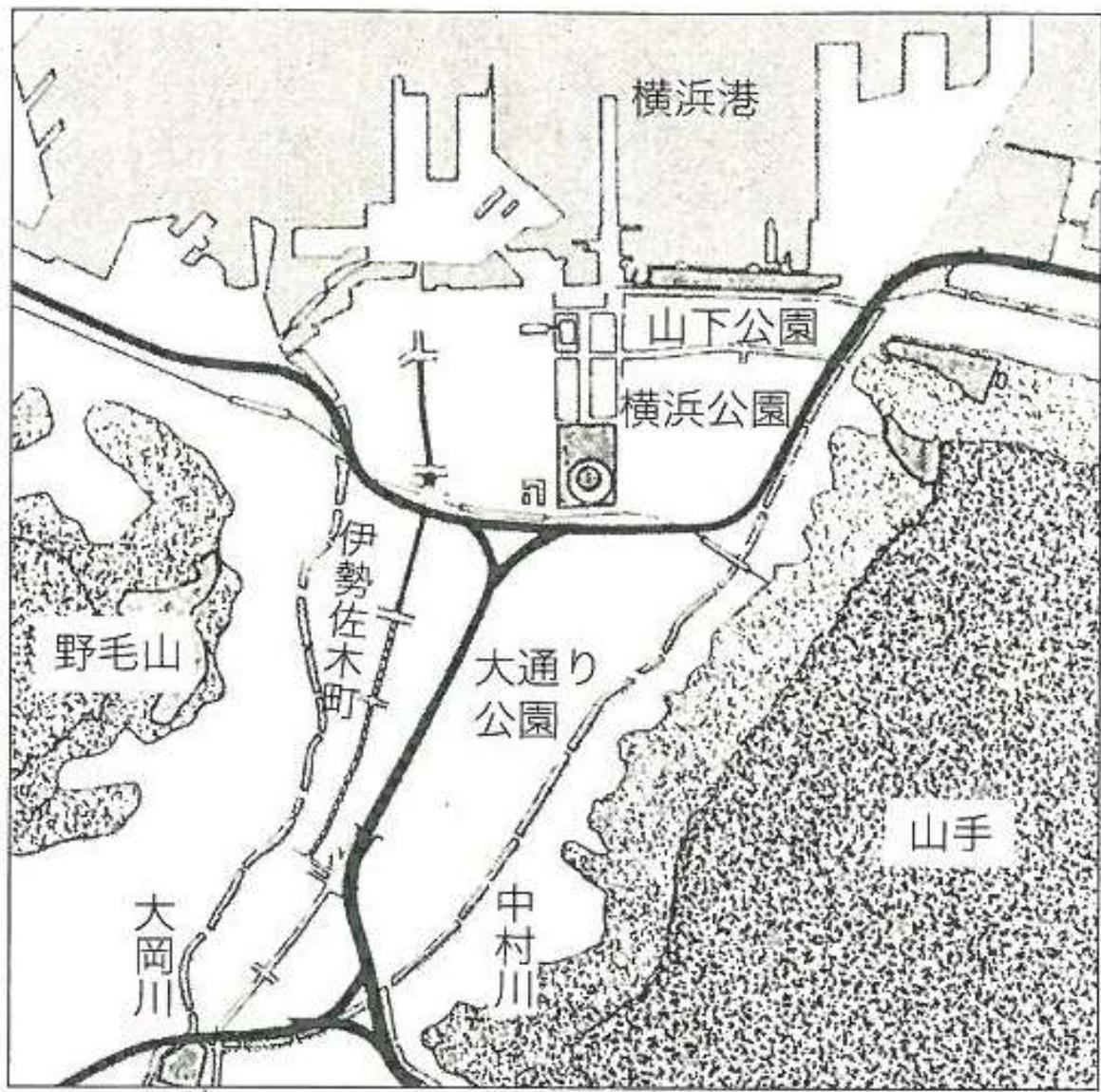


# 『六大事業』横浜都心部の再開発構想 高架高速道路の建設









横浜港

山下公園

横浜公園

野毛山

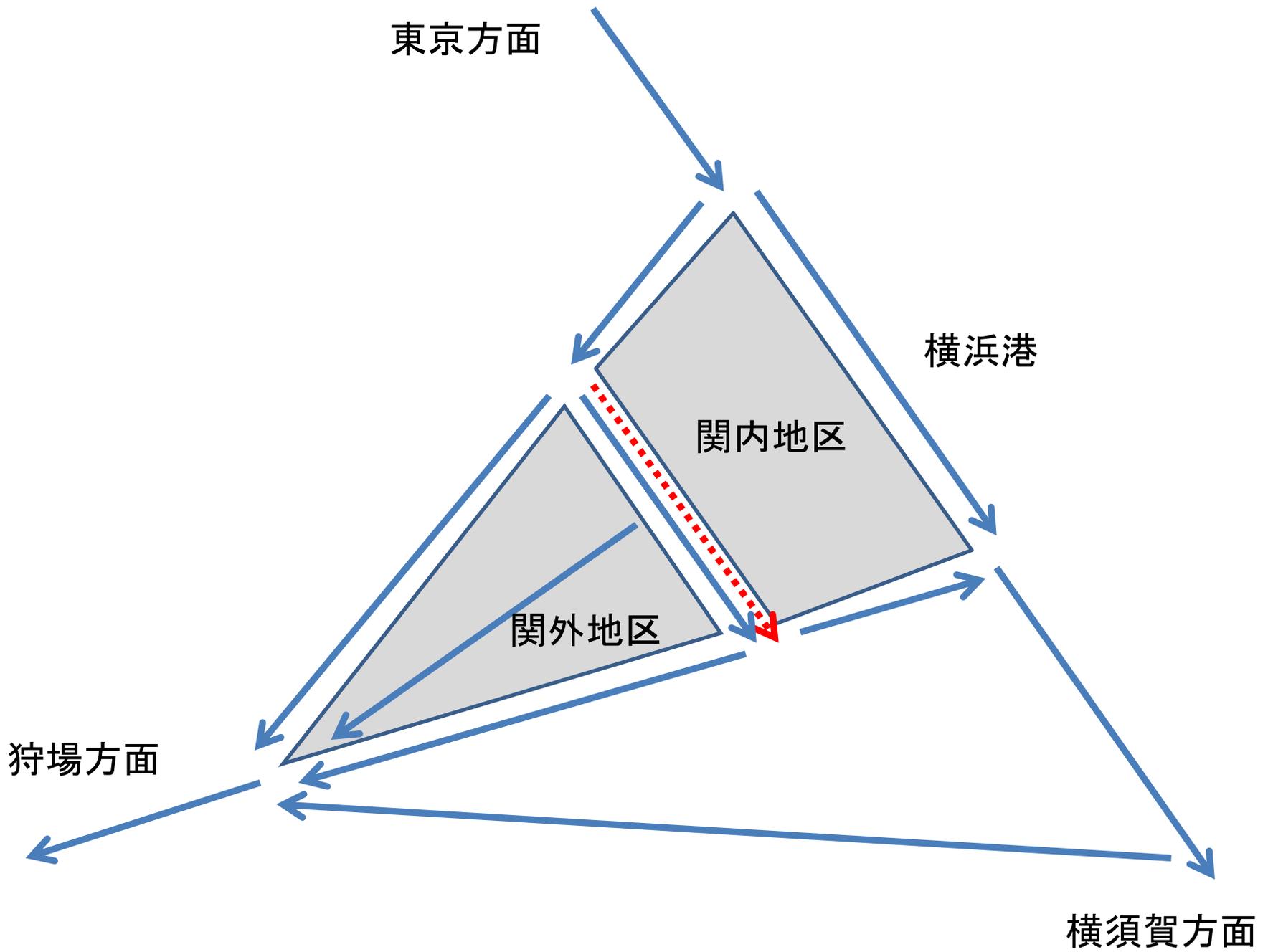
伊勢佐木町

大通り公園

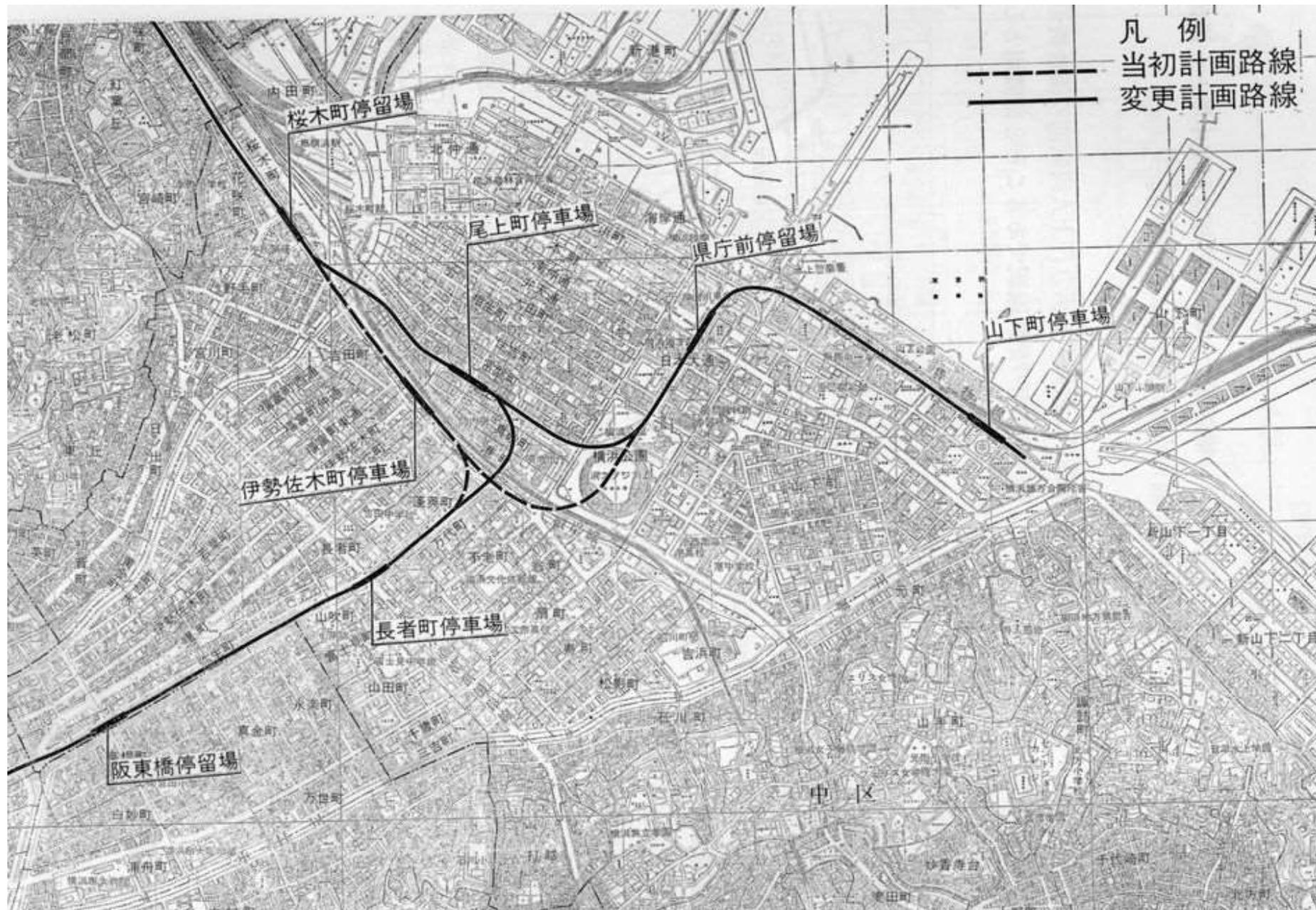
山手

大岡川

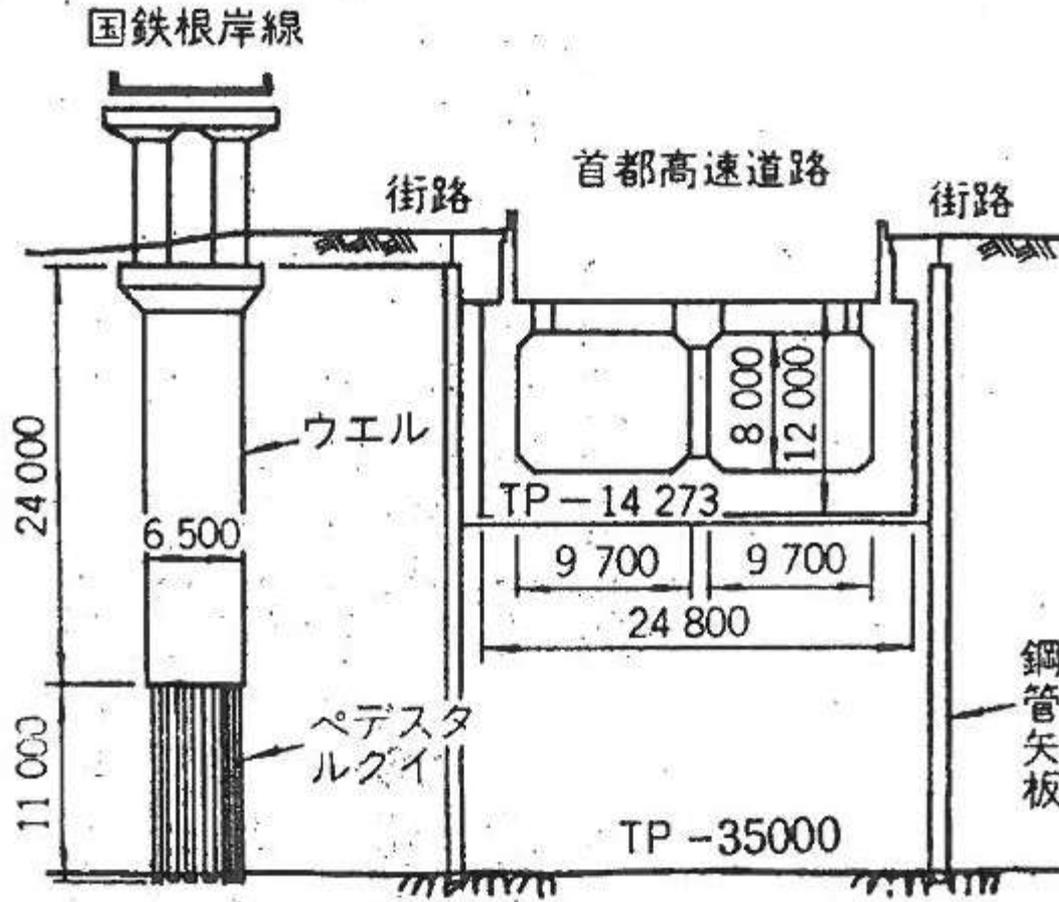
中村川

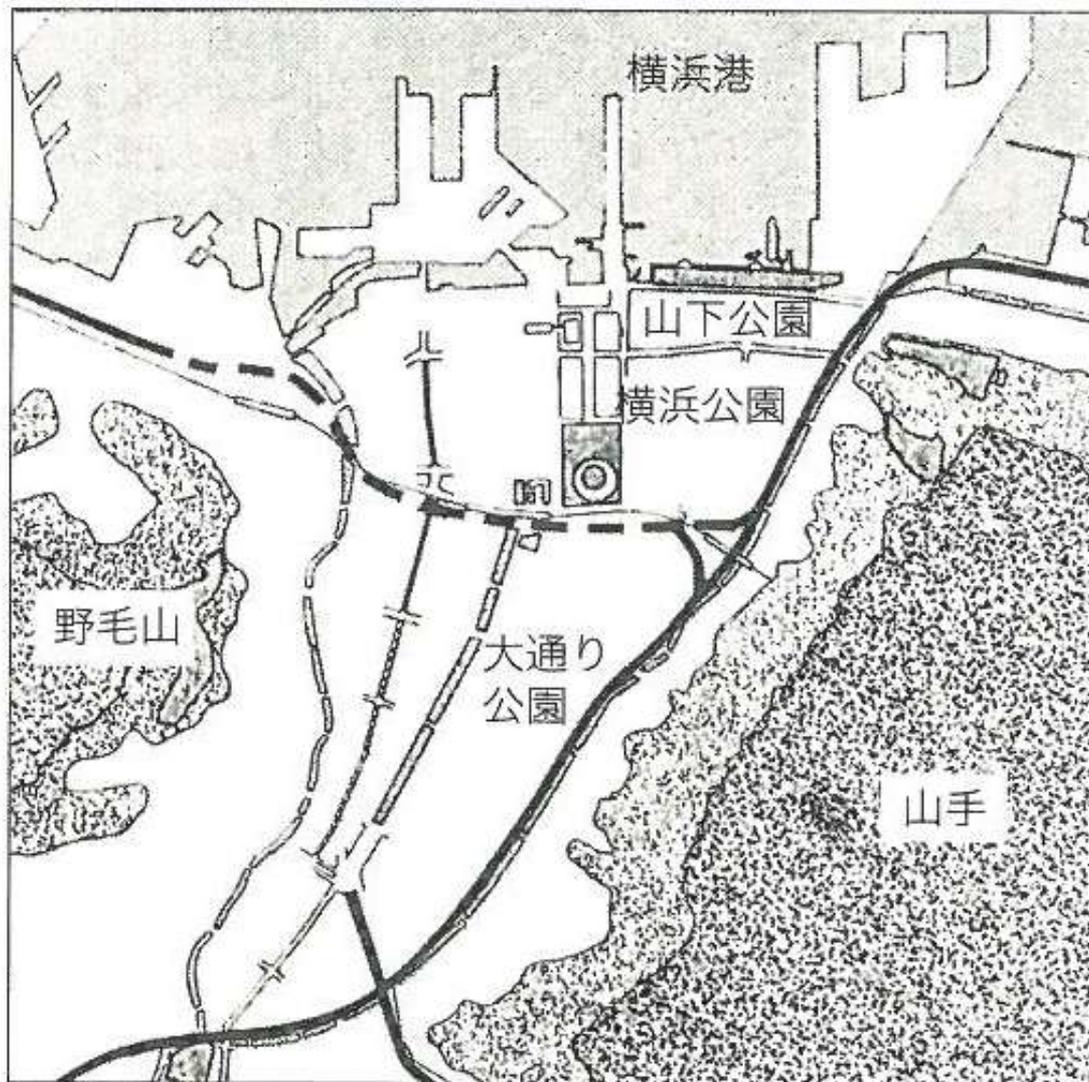


凡例  
当初計画路線  
変更計画路線

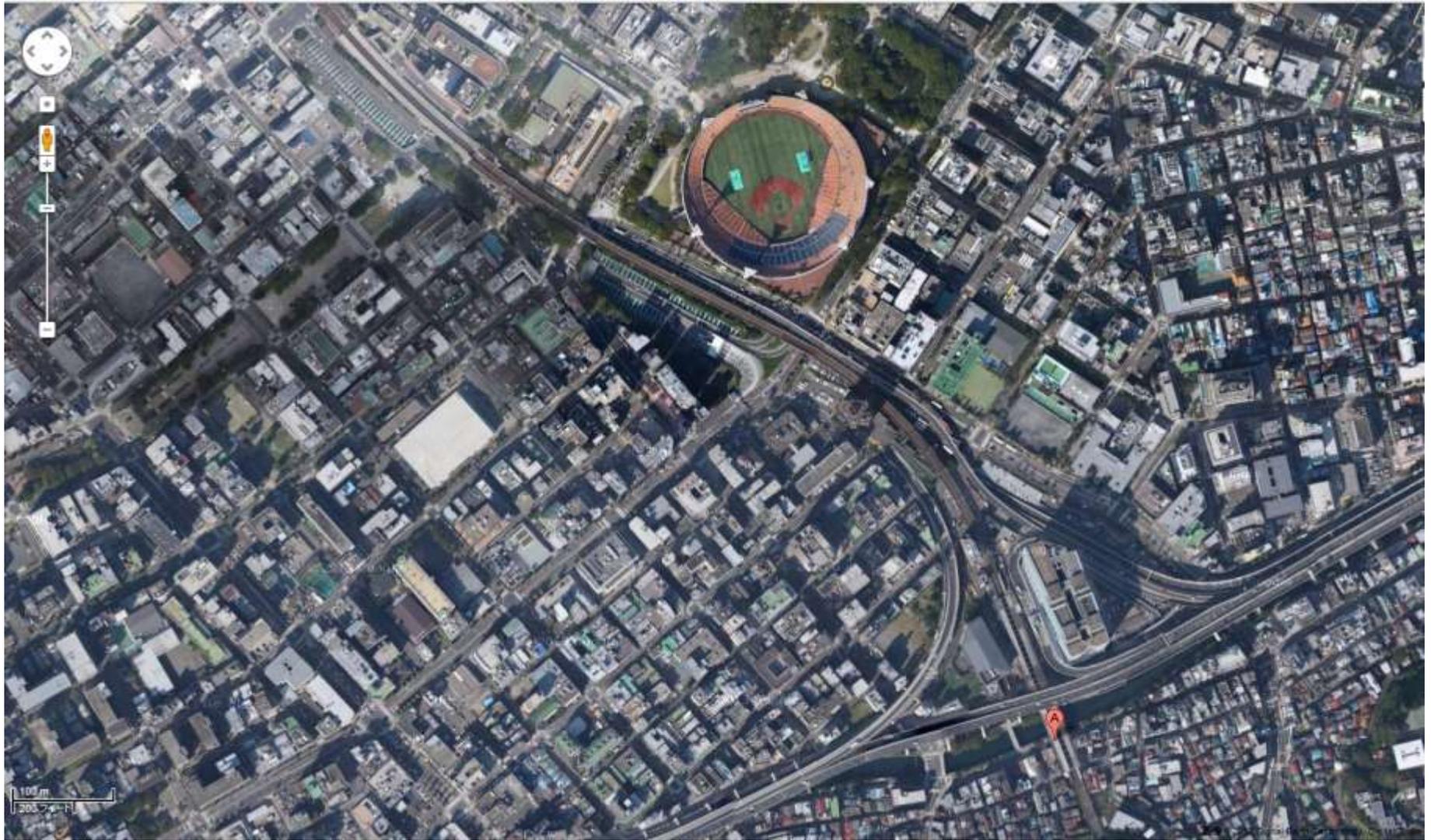


# 高速道路の地下化





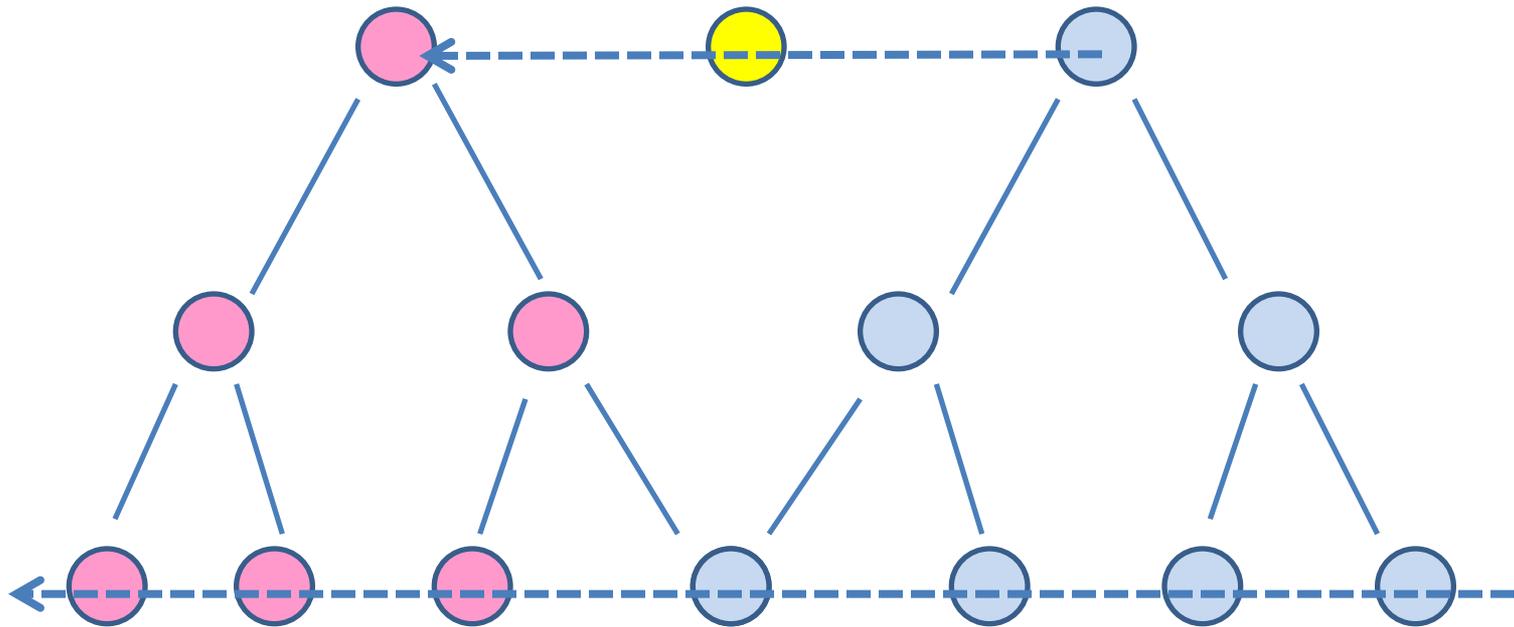
----- 地下および半地下



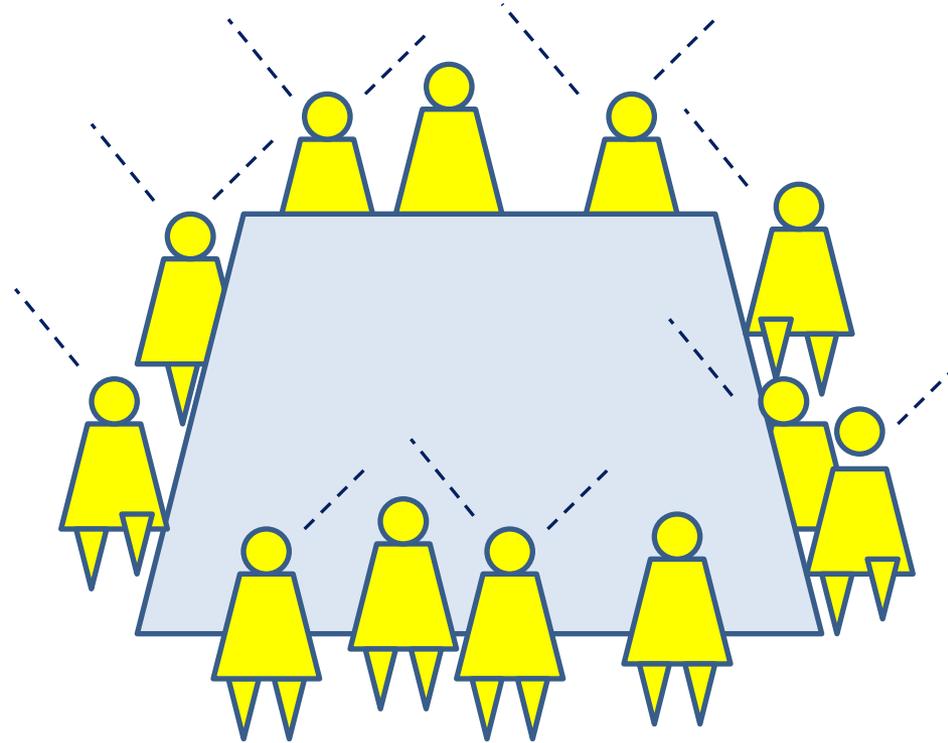
- 39年12月 環境開発センター『六大事業』提案
- 41年 寺内孝論文『横浜市の都心環状高速道路』
- 42年 市調査研究会「横浜都心部の高速道路」建設省も参加
- 42年 都市計画審議会の事前協議で高速道路ルートと構造を議論
- 43年 2月中旬 都市計画地方審議会で高架高速道路の都市計画決定
- 2月末 伊勢佐木町・関内商店街より反対陳情
- 3月末 再び首脳部会議で飛鳥田が地下化を主張、道路局危機感
- <調整第1段階>
- 43年4月 田村明入庁・高速道路地下化の内部会議開始
- 5月 飛鳥田市会説明『地下化の調整を企画調整室に指示』
- 田村たち建設省日参、一方高架方式実現を道路局に建設省が強く求める
- 7月 建設省が地下化検討開始の方向と飛鳥田が記者発表
- <調整第2段階>
- 夏以降 地下化の本格検討開始、地下鉄との取り合い調整
- 10月 飛鳥田が記者会見『建設省と折衝中で勝算あり』
- 12月 内陸ルート選定で大激論
- <調整第3段階>
- 44年初め 内陸ルートの中村川に変更し妥協を図る
- 3月 田村が建設事務次官と会談『地下化方針決定』
- 5月 都市計画決定の変更

# 組織構造の大転換

## 自治体の自立と横刺しによる調整



# 職位に関係なく情報を共有化する 企画調整局「大テーブル主義」



主体性をもち元気な「チーム横浜」への発展